

# 大会日程

## 第58回 滋賀県中学校春季総合体育大会 バレーボール競技

5月20日（木）

開 館 8 : 3 0 競 技 開 始 9 : 1 1  
1 3 : 0 0 1 3 : 4 1

会 場

《女子》	高 島 中 学 校（2面）	仰 木 中 学 校（2面）
	栗 津 中 学 校（2面）	栗 東 中 学 校（2面）
	安 土 中 学 校（2面）	能 登 川 中 学 校（2面）
	米 原 中 学 校（2面）	長 浜 西 中 学 校（2面）
《男子》	栗 東 西 中 学 校（2面）	皇 子 山 中 学 校（2面）

5月21日（金）

役 員 集 合 8 : 0 0 開 館 8 : 3 0（第4試合のチームは11:30）

会 場 《男女》 ウカルちゃんアリーナ（3面）、別館（1面）

合 同 練 習

8 : 3 5 第2試合のチーム（第1試合のチームはフロアーから出る）

8 : 4 5 第1試合のチーム

プ ロ ト コ ー ル 8 : 5 4

競 技 開 始 9 : 0 5

※第4試合のチームはネット調整中にバックゾーンおよびフリーゾーンでのボールを使用した練習を認める。ネット調整後5分間の合同練習を行う。

### 各チームへの連絡事項

1. 参加上の注意事項（感染防止対策）を遵守し、大会へ参加してください。
2. 各チームは、会場に到着次第、受付を済ませてください。
3. 試合終了後、本部に連絡の上、帰校してください。なお、この際、各チームが出したゴミの始末の徹底をお願いします。

## 競 技 上 の 注 意 事 項

1. 本大会は、2021年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じて行う。なお、ネットの高さは、男子2m30cm・女子2m15cmとする。使用球は、検定4号球男子モルテンV4M5000、女子ミカサV400Wとする。3セットマッチ（ただし、3セット目は15点）。
2. 競技方法は単純トーナメント方式とする。決勝戦については行わない。
3. 開始式および閉会式は行わない。
4. 監督・コーチ・マネージャー・選手の登録に変更がある場合は、受付で「エントリー変更届出用紙」を届けること。

申し込み選手18名の中からエントリー（登録）選手12名を試合毎に登録すること。原則として競技者番号の変更は認めない。ただし、ユニフォームが欠番しているとき、当事者のみ番号変更は認める。登録は構成メンバー票の提出で代替することとする。
5. 公式練習時間は、合同で6分間とし、申し出のあった場合は各チーム3分間とする。また、試合前に5分間の合同練習を認める。公式練習に際しても、有効な構成員16名（部長・監督・コーチ・マネージャー・選手12名）以外の者がフロアおよびコートに入ることを禁止する。ただし、合同練習では安全確保のため有効な構成員以外の者がフロアおよびコートに入り練習を補助することを認める。
6. 試合が連続する場合は、10分以内の休憩をとる。その間はパス程度の練習を認める。（合同練習は、この時間に含まれない。）
7. 審判員・生徒役員の分担は、大会役員の指示に従うこと。なお、第1日目の午前・午後の最初の試合については、会場にいる空きチームで審判を行うこととする。
8. セット間・タイムアウト中に、次試合のチームはコート内およびフリーゾーンで練習を行わない。（コートサイドでは待機しているだけとする。）
9. 大会参加者は、言動等について、中学生としてふさわしいマナーを守ること。

（ソックスはくるぶしの隠れるものを着用すること。装飾品を着用しないこと）

スタッフの短パン・ハーフパンツ・ランニングシャツ・Tシャツ、鳴り物・メガホンのベンチへの持ち込みを禁止する。
10. 本大会はWTOを採用しないため、団扇の持ち込みについても禁止する。
11. 大会2日目は、監督・コーチ・マネージャーは統一された服装が望ましい。ただし、マネージャーが生徒の場合をのぞく。
12. 本大会の1位、2チームを夏季総合体育大会に推薦する。なお合同チームについては、2つのチームの組み合わせが変わらないときは、単独チームと同じ扱いにする。また、2位チームの所属するブロックにはブロック推薦として1チームずつを夏季総合体育大会に推薦する。

## 審判上の確認事項

1. 本大会は、2021年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じて行う。なお、ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。
2. 監督はプロトコール前、キャプテンはトス終了後、記録用紙にサインを済ませる。
3. ウォーム・アップ・ゾーンを設ける。但し、ゾーン内でのボールの使用は禁止する。
4. セット間はフリーゾーンでボールを使用してもよいが、隣のコート邪魔にならないように、パス程度のものとする。
5. 役員、相手チームのプレイヤーはもちろん、自チームのプレイヤーに対しても粗暴な行為や人格を損なうような言動は、慎まなければならない。
6. スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手チームに向かってのガッツポーズ等）
7. ボールがデッドになった時点での不必要なコート外への飛び出しは、ディレーイング・ゲームになる恐れがあるので行わないこと。
8. 試合中、ボールの交換を要求する場合、選手が主審または副審に申し出ること。
9. ワンボールシステムで試合を行うので、デッドになったボールの処理は速やかに行うこと。
10. タイムアウトは、ベンチから立ち上がってコールしながらハンドシグナルを明確に示して要求すること。
11. ネットへの接触について、ボールをプレーする動作中の選手による両アンテナ間のネットへの接触は反則である。ボールをプレーする動作の中には、（主に）踏み切りからヒット（またはプレーの試み）、着地までが含まれる。
12. モップでのワイピングについてはタイムアウト中、セット間に自チームで行うこと。ただし、主審・副審が危険であると判断した場合はモップを入れてワイピングする。
13. ワイピングは、コート内の選手が、自分の持っているハンドタオル等を用いて速やかに行うこと。また、12名の構成メンバーの中から1名のクイックモッパーを置くことができる。
14. 構成メンバーは最大12名でリベロプレイヤーを含む。チームは、最大2名までのリベロプレイヤーを試合毎に登録できる。
15. 主審は教職員が行う。ただし、外部コーチが有資格者の場合は、主審をすることができる。
16. 副審は、教職員および外部コーチで行う。
17. ホイッスルはマスクの下で吹笛を行う。また電子ホイッスルの使用を可とする。

## プロトコール（試合開始前・セット間及び試合終了後の手順）

### 《試合開始前》

試合前	チ ャ ム	主審・副審
	両審判のネット等のチェック時は、ネットを使用せずウォームアップをすることができる。	両審判は、ネットの高さ・張り具合・アンテナの位置やサイド・バンドの位置をチェックする。（スケールは副審が持つ。）
11分前	チーム・キャプテンは、トスのため記録席に行く。トスに先立ち、記録用紙にサインを行う。	主審は、副審を立ち合わせて記録席前でトスを行う。副審は、チーム・キャプテン、監督を記録席に導き、記録用紙にサインをさせる。
9分前	両チームが一緒か、または個別に公式ウォームアップを開始する。	主審は、公式ウォームアップ開始を合図する。ボール、記録用紙、ユニフォームなどのゲームに必要な用具をチェックする。ラインジャッジと打ち合わせをする。副審は、公式ウォームアップの計時をする。
3分前	主審の合図で、公式ウォームアップを終了する。	主審は、公式ウォームアップ終了の合図をする。
2分前	主審の合図で、エンドライン上で礼をする。（※コロナ対応ガイドラインに基づく）それぞれのチームはベンチに戻る。	審判役員はそれぞれの定位置につく。副審は、サービス・ゾーンの近くに位置する。
1分前	主審の合図で、スターティング・プレイヤーは、コートに入る。	主審は、合図してプレイヤーをコート内に導き、副審、記録員はそれぞれライン・アップを照合する。（このときリベロはコートに入らない）そして、副審はボールを最初のサーバーに送る。
0分前		主審は、第1サービスへの吹笛を行う。

### 《セット間》

	セット終了後、コート上のプレイヤーはエンド・ライン上に整列する。主審の合図で向かって右側のサイド・ラインにそって進み、支柱の外側を通過したら直接それぞれのベンチに入る。	主審は、チームがエンド・ラインに整列したら、コートを交替するよう吹笛とシグナルで合図する。
2分 30秒後	主審の合図により、エンド・ライン上に並ぶことなく、ベンチより直接コートに入る。	副審は、記録員合図を受けて両チームにコートに入るよう合図する。直ちに、副審・記録員はライン・アップを照合する。

### 《試合終了後》

速やかに	主審の合図で、すべてのプレイヤーはエンド・ライン上に整列する。 主審の合図で、エンドライン上で礼をする。（※コロナ対応ガイドラインに基づく。）そして、記録用紙にサインをする。チームは直ちにベンチから去る。	両チームのチーム・キャプテンを伴って記録席に行き記録用紙への記入を完了させる。
------	---	---